

とよさと

TOYOSATO ASSEMBLY

議会だより



白いそばの花

議会改革をめざし 新たな飛躍を

9月定例会

平成25年度 一般・特別会計決算	2p
議決の結果	4p
常任委員会の報告	8p
滋賀県議長会議員研修	11p
5議員が一般質問	12p
舞踊教室「ひまわりの会」	18p
豊郷町書道クラブ	



江州音頭発祥の地

各会計別決算 額年度対比表

(単位:千円、%)

	歳 入				歳 出				差 引 増 減 額			
	平成24年度	平成25年度	増 減 額	増 減 率	平成24年度	平成25年度	増 減 額	増 減 率	平成24年度	平成25年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	3,967,241	4,345,228	377,987	9.5	3,696,507	4,212,735	516,228	14.0	270,734	132,493	△ 138,241	△ 51.1
特 別 会 計	2,029,793	2,114,850	85,057	4.2	1,996,941	2,082,987	86,046	4.3	32,852	31,863	△ 989	△ 3.0
国民健康保険事業特別会計	830,618	867,246	36,628	4.4	806,888	854,716	47,828	5.9	23,730	12,530	△ 11,200	△ 47.2
簡易水道事業特別会計	314,612	356,383	41,771	13.3	311,105	352,850	41,745	13.4	3,507	3,533	26	0.7
下水道事業特別会計	312,299	292,914	△ 19,385	△ 6.2	309,207	282,295	△ 26,912	△ 8.7	3,092	10,619	7,527	243.4
介護保険事業特別会計	520,080	543,327	23,247	4.5	517,557	538,146	20,589	4.0	2,523	5,181	2,658	105.4
後期高齢者医療事業特別会計	52,184	54,980	2,796	5.4	52,184	54,980	2,796	5.4	0	0	0	0.0
合 計	5,997,034	6,460,078	463,044	7.7	5,693,448	6,295,722	602,274	10.6	303,586	164,356	△ 139,230	△ 45.9

※各会計・歳入歳出毎に表示単位未満を四捨五入している関係上、総額が合わないことがある。

会計別執行状況

(単位:%)

会計名	区分	収 入 率		執 行 率	
		対総予算額	対調定額	対総予算額	不 用 額
一 般 会 計		98.1	93.6	95.2	4.2
国民健康保険事業特別会計		98.9	95.6	97.4	2.5
簡易水道事業特別会計		93.1	96.9	92.2	7.8
下水道事業特別会計		98.3	87.8	94.8	3.8
介護保険事業特別会計		98.7	99.8	97.7	2.3
後期高齢者医療事業特別会計		99.7	99.9	99.7	0.3
合 計		98.0	94.3	95.5	4.0

9月定例会

- 9月定例会を9月1日から25日の会期で開催しました。
- 町長から提出された案件は22件（内訳は、同意1件、条例5件、補正予算6件、決算認定6件、その他4件）でした。補正予算や決算認定など21件を委員会に附託しました。
- 一般質問は9月1日、5議員が行いました。
- 9月定例会最終日（9月25日）条例改正など議案23件を採決し、閉会しました。

議 決 の 結 果

平成26年9月 豊郷町議会定例会 議事日程		議 員 名										結果		
		前田	西山	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	—	河合	今村		北川	堀
議案48号	豊郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		同意
議案49号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		同意
議案50号	豊郷町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例案	○	○	◎	×	○	○	○	—	○	☒	◎		可決
議案51号	豊郷町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例案	○	○	◎	×	○	○	○	—	○	☒	◎		可決
議案52号	豊郷町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例案	○	○	○	◎	○	○	○	—	○	○	◎		可決
議案53号	豊郷町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	◎		可決
議案54号	地域福祉基金条例を廃止する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	◎		可決
議案55号	平成26年度豊郷町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
議案56号	平成26年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
議案57号	平成26年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
議案58号	平成26年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
議案59号	平成26年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
議案60号	平成26年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	—	○	×	○		可決
議案61号	平成25年度一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	—	○	☒	◎		可決
議案62号	平成25年度豊郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	—	○	☒	◎		認定
議案63号	平成25年度豊郷町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	◎		認定
議案64号	平成25年度豊郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	◎		認定
議案65号	平成25年度豊郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	—	○	☒	◎		認定
議案66号	平成25年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	—	○	☒	◎		認定

(○は賛成、◎は賛成討論を行った、×は反対、☒は反対討論を行った。議長は裁決に加わらないため空白)

平成26年9月 豊郷町議会定例会 議事日程		議 員 名											結果	
		前田	西山	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	—	河合	今村	北川		堀
意見書第1号	集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書（案）	×	☒	×	◎	×	×	×	—	○	○	×		不採択
請願第1号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書	○	○	○	◎	○	○	○	—	○	○	○		採択
意見書第3号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
請願第2号	解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願	×	☒	×	◎	×	×	×	—	○	○	☒		不採択
請願第3号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	○	○	○	◎	○	○	○	—	○	○	○		採択
意見書第4号	手話言語法制定を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決
請願第3号	集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、それに基づく立法化を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	×	×	×	◎	×	×	☒	—	○	○	×		不採択
意見書第2号	ガソリンのトリガー条項凍結の解除を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○		可決

（○は賛成、◎は賛成討論を行った、×は反対、☒は反対討論を行った。議長は裁決に加わらないため空白）

意見書第2号

ガソリンのトリガー条項凍結の解除を求める意見書（案）

トリガー条項は、ガソリン価格が1リットル160円を3ヶ月連続で超えると発動される。税の上乗せ税率分25円の課税を廃し、3ヶ月連続で130円を下回るまで解除されない仕組みだが、東日本大震災の復興財源の確保に支障をきたすとして発動は凍結されている。

政府は、消費税増税に加えガソリン価格の高騰が続けば日本経済の足を引っ張るのではないかと思う。政府は、年1.8兆円の減収に陥ることに対し極めて消極的である。

また、国において復興税、国家公務員、国会議員の歳費の減等を今国会で廃止をしたところである。

しかし、4月で1リットル164円、7月で169円と右肩上がりに高値で推移している。ガソリン価格の引き下げ政策は、大企業優先政策とは違い国民全体に恩恵をもたらす政策ではないかとも思います。従って、国民のためにもトリガー条項の凍結を解除するように強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成26年9月25日

豊郷町議会

提出先 内閣総理大臣
経済産業省大臣
財務省大臣
国土交通省大臣

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書（案）

わが国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の攻めに帰すべき事由によるものであるということは、肝炎対策基本法や「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」、「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」でも確認されているところであり、国の法的責任は明確になっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が、B型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数にのぼる。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

また、現在は肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定（障害者手帳）の対象とされているものの、医学上の認定基準がきわめて厳しいため、亡くなる直前でなければ認定されないといった実態が報告されるなど、現在の制度は、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

他方、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時（平成23年12月）には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との付帯決議がなされた。しかし、国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、本議会は、下記事項を実現するよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝炎・肝がんに係る医療費助成制度を創設する。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること

平成26年9月25日

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様

滋賀県豊郷町議会

訂正とお詫び

第58号の「議決の結果」の中で第41号 平成26年度一般会計補正予算（第1号）の結果の「否決」は、「可決」でありますので、訂正とお詫びを申し上げます。

《同意》
人権擁護委員
西山 肇氏

《同意》
教育委員会委員
久木 憲治氏

「手話言語法」制定を求める意見書（案）

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使うろう者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として定説に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

2006（平成18）年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011（平成23）年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であるとする。

よって本町議会は、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

右、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月25日

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
法務大臣 様
文部科学大臣 様
厚生労働大臣 様

滋賀県豊郷町議会

委員会の出欠状況

日付	会 議	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		氏 名	前田	西山	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	-	河合	今村	北川	堀
8月28日	議会議員全員協議会		出	出	出	出	出	出	出	-	欠	出	出	出
9月 1日	第3回定例会		出	出	出	出	出	出	出	-	出	出	出	出
9月 8日	予算決算常任委員会（1日目）		出	出	出	出	出	出	出	-	出	出	出	出
9月 9日	予算決算常任委員会（2日目）		出	出	出	出	出	出	出	-	出	出	出	出
9月11日	総務産業建設常任委員会		出	出	-	出	出	出	-	-	-	-	-	出
9月16日	文教民生常任委員会		-	-	出	-	-	-	出	-	出	出	出	-
9月25日	第3回定例会（再開）		出	出	出	出	出	出	出	-	出	出	出	出

注1 「出」は出席、「欠」は欠席です。

注2 委員会は、所属する委員のみあらわしており、「-」は出席の必要はありません。

常任委員会の報告

予算決算常任委員会報告 9月8・9日

去る9月1日の本会議におきまして、当委員会に付託をされました諸議案について審議を行いました。

(補正予算審議)

議第55号平成26年度豊郷町一般会計補正予算(第2号)の審議では、税務課の質疑では、歳出において固定資産税・町民税還付金、還付未払金はどのようなかなどについて、

総務企画課関係の質疑では、歳入においては、減収補てん特例交付金の増額理由、普通交付税の状況、国庫補助金のがんばる地域交付金は継続されるのか、寄附金の増額の理由、減債基金繰入金の取り崩しの理由についてなど、

歳出では、企画費の豊郷駅トイレの利用につい

て愛里保育園施設費で職員手当の住居手当の内容について、公債費では、繰上償還分を行った分はいくらになるのかなどが質疑されました。

住民生活課では、環境衛生費の墓地高木剪定工事の内容について、保健福祉課では、歳出で、老人福祉費の原油高騰対策事業で何故対象者が申請をされなかったのか、障害福祉で理解促進研修・啓発事業をどのように進めていくのかなどについて質疑されました。

業補助金の増額理由、雑入の全国市町村振興協会助成金について、

歳出では、農業総務費では揚水ポンプ改修事業補助金の補正の理由、農業振興費で農業再生協議会業務補助金の具体的な説明など、商工振興費の街路灯整備事業補助金で事業場所、今後の計画についてなどについて質疑されました。

地域整備課においては、歳出で、簡易水道費の繰出金その他の経費分とは何か、農地費の愛知川沿岸土地改良事業費補助金の事業の理由などについて、

人権政策課においては、歳出では公営住宅管理費、改良住宅管理費の修繕場所と内容などについて質疑がされました。

教育委員会においては、歳出の事務局費の損失補償費のその後の状況について、教育振興費の臨時講師の減額の理由、日栄小学校管理費の設計監理委託料の補正理由に

ついて、豊栄のさと施設費の備品購入費の補正理由についてなどの質疑がありました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で可決することと決しました。

討論なし

採決結果(可10―否0)

(決算審議)

議第61号平成25年度豊郷町一般会計歳入歳出決算についての審議では、税務課関係の質疑では、歳入で町税が伸びている理由は何故か、滞納繰越への取り組み・差押えについて、法人税の滞納の内訳などについて、

歳出では、愛犬同対税務連絡協議会での活動内容と実績の説明について、賦課徴収員の徴収嘱託員活動の実績についてなど質疑がされました。

総務企画課では、歳入においては、株式譲渡所得交付金が当初に比べ上昇した理由、雑入の弁償金の未収金はどうか、

ているのかなどについて、

歳出では、一般管理費で予備費流用は行わなくてもよかつたのではないかと、交際費の内訳について、文書広報費の機器借上げ料の内容について、電気自動車カーシェアリングの費用対効果について、消費者行政活性化事業の決算概要と決算書との内訳について、全国小さくても輝く自治体フォーラムとの関わりはどうか、参議院議員選挙費の報償費の内容説明について、災害対策費で災害用の毛布の保管について、自主防災組織資機材整備事業、防災施設整備事業の事業内容と実績について、公債費の元金の内訳の説明など

住民生活課では、戸籍人口と住基人口との差は何故か、環境対策費の湖東定住自立圏環境・ごみ処理部会の活動実績について、

保健福祉課では、歳入で生きたいデイサービスの利用実績の説明、母子家庭等対策総合支援事業の内容について、雑入の収入未済金は何に對するものなのか、

歳出では、長寿祝金の内訳とすまいるたうんばすの問題点について、福祉医療給付費の扶助費の内訳の説明などについて、

愛里保育園では、歳入で延長保育の人数について、歳出では、保育士の嘱託と臨時職員の実態をどのように調整しているのかなどについて、

医療保険課では、歳入でがん検診推進事業補助金の内容説明などについて、

歳出では、包括的支援センター事業委託の内容などについて、

産業振興課では、歳入でいきがい協働センターはどのような人が利用されているのか、企業内同和問題研修事業の事業内容について、レンタルサイクルの利用状況はどうか、緊急雇用創出特別推進事業の事業実績の説明を、雑入で信用保証協会損失補償回収金の内容、件数の説明などについて、

歳出では、彦根愛知犬上職業対策連絡協議会の活動内容を、農業経営基盤強化資金利子補給、揚水ポンプ改修事業、とよさと特産物振興協議会、

とよさと

総務産業建設常任委員会

9月11日

湖東農業センターの事業

内容の説明を、学校給食野菜供給拡大事業の取組状況、今後の検討について、生きがい協働センターの職員の配置、勤務状況、仕事内容、現状の説明、今後の対応について、観光協会を自主運営としていくのは何年後か、将来の目的はどうかなどについて、

地域整備課では、歳入で道路占有使用料の件数、屋外広告物許可手数料の内容、河川愛護活動事業補助金・住生活総合調査委託金の内容について、

歳出では、道路橋梁費の不用額は補正で減額できないのか、下水道繰出金で公債費の元金と利子との内訳はどうかなどについて、

人権政策課では、歳入で隣保館デイサービスの利用者はどうか、住宅使用料の滞納者の状況について、財産売却収入の内訳について、違約金の件数などについて、住宅新築資金等貸付元利収入で繰上償還の件数と現年度分の状況について、持家住宅建設資金元利収入の

件数について、

歳出では、老人憩いの家の今後の方向はどうか、児童館をもっと活用できる方法はどうか、公営住宅管理費のLED・カメラの設置状況などについて、

教育委員会では、歳入で、教育費使用料の内容について、

歳出では、事務局費、教育振興費の賃金について、文化振興事業の概要と内容の説明、生涯学習推進事業の内訳について、青少年育成町民会議の委託料と補助金の内容について、図書館の取組とスペースの確保について、1市4町の図書館部会の状況などについて、

議会事務局費では、費用弁償の内訳などについて質疑されました。

反対討論・賛成討論それぞれあり、採決の結果、賛成多数で承認することと決しました。

反対討論（今村）
賛成討論（北川）
採決結果（可8―否2）

去る9月1日の本会議におきまして、当委員会に付託をされました諸議案等について審議を行いました。

（補正予算審議）
議第57号 平成26年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算第1号の審議では、

歳入において繰越金の確定時期はいつなのか、歳出においては、南部簡易水道事業費の修繕料の内容についての質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で、可決と決しました。

採決結果（可5―否0）

議第58号 平成26年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算第2号の審議では、

歳出において、維持管理費の工事請負費の減額理由についてなどの質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で、承認と決しました。

採決結果（可5―否0）

（当初予算審議）
議第63号 平成25年度豊郷町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての審議で、歳入では、加入者負担金の調定額が決算書と概要との差異について、徴収見込みについて、使用料の請求件数、未納者に対する考え方、不能欠損処分をすべきではないのかなどについて、

歳出では、一般管理費の内訳について、水質検査委託で水道が濁っていることがあったが他にもあったのか、対応策はどうなのか、南部簡易水道事業費では修繕料の内容についての質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で、承認と決しました。

採決結果（可5―否0）

（意見書審議）
意見書第1号 集团的自衛権を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書（案）の審議では、集团的自衛権についての質疑がされました。

質疑終了後、反対討論、賛成討論ともにあり、採決の結果、賛成少数で、不採択と決しました。

反対討論（西山）
賛成討論（鈴木）
採決結果（可1―否4）

採決結果（可1―否4）

議第64号 平成25年度豊郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての審議では、歳入で下水道受益者負担金の滞納件数について、雑入と弁償金の内容などについて

歳出では、維持管理費のハザードマップの配布について、下水道総合地震対策計画策定業務委託の業務内容について、公債費の不用額などについての質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で、承認と決しました。

採決結果（可5―否0）

（請願審議）
請願第2号 解釈改憲による集团的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願の審議では、解釈改憲による集团的自衛権についての質疑がされました。

質疑終了後、反対討論、賛成討論ともにあり、採決の結果、賛成少数で、不採択と決しました。

反対討論（堀）
賛成討論（鈴木）
採決結果（可1―否4）

採決結果（可1―否4）

採決結果（可1―否4）

採決結果（可1―否4）



審議風景

文教民生常任委員会

9月16日

去る9月1日の本会議におきまして、当委員会に付託をされました諸議案について審議を行いました。

(条例審議)

議第50号 豊郷町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例案の審議では、第6条正当な理由のない提供拒否の禁止等の中で正当な理由の具体的な説明、同上第2項で抽選、申し込みを受けた順序により決定する方法、当該特定教育・保育施設の設置者の教育・保育に関する理念、基本方針等に基づく選考その他の公正な方法とはどのようなことかなどの質疑がされました。

質疑終了後、反対討論、賛成討論ともにあり、採決の結果、賛成多数で、可決と決しました。

反対討論(今村)

賛成討論(西澤ひ)

採決結果(可3―否1)

議第51号 豊郷町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例案の審議では、第4条 家庭的保育事業者等の職員の一般的要件において、町として資質が下がることに心配がないのか、事故が起きた時に市町村が責任をとるようになるが、町としてはどう確認をとっていくのかなどの質疑がされました。

質疑終了後、反対討論、賛成討論ともにあり、採決の結果、賛成多数で、可決と決しました。

反対討論(今村)

賛成討論(西澤ひ)

採決結果(可3―否1)

議第52号 豊郷町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例案の審議では、第9条 設備の基準で一人当たりの面積は狭いと思うが、児童数に合わないのか、児童数に対する職員数はどうか、小学6年生まで受け入れるのか、専用スペースはど

うなのかなどについて質疑がされました。

討論なく、採決の結果、全員賛成で、可決と決しました。

採決結果(可4―否0)

議第53号 豊郷町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例案の審議では、質疑、討論なく、全員賛成で、可決と決しました。

採決結果(可4―否0)

議第54号 地域福祉基金条例の廃止をする条例案の審議では、質疑、討論なく、全員賛成で、可決と決しました。

討論なし

採決結果(可4―否0)

(補正予算審議)

議第55号 平成26年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号の審議では、歳入にて、基金繰入金の繰入と歳出でも積立金を計上している理由についての質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で、可決と決しました。

討論なし

採決結果(可4―否0)

議第59号 平成26年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の審議では、歳入で滞納者の状況説明、滞納理由などについて、歳出では、繰入金と積立金が同額であること理由について、国県への返還金はH25年度分かなどの質疑がされました。

質疑終了後、討論なく、採決の結果、全員賛成で、可決と決しました。

採決結果(可4―否0)

討論なし

議第60号 平成26年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)の審議では、質疑、討論なく採決の結果、賛成多数で、可決と決しました。

討論なし

採決結果(可3―否1)

議第62号 平成25年度豊郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

についての審議では、歳入で、国民健康保険税で不能欠損の内容、災害臨時交付金の内容、その他

の繰入金の内容について、歳出では、徴税費が補正で減額になっている理由、運営協議会の審議内容、特徴的な意見はどうか、保険給付費のH25年度の傾向について、保健事業のH25年度の成果はどうかなどについての質疑がされました。

質疑終了後、反対討論があり採決の結果、賛成多数で、承認と決しました。

採決結果(可2―否1)

議第65号 平成25年度豊郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定についての審議では、歳入で収入未済額の説明、不能欠損処分の条件についてなど

歳出では、運営協議会の活動内容について、給付費が伸びてきている理由について、予防費が当初予算より減額になっている理由は、包括支援事業の実績内容についての質疑がされました。

採決結果(可3―否1)

質疑終了後、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で、承認と決しました。

反対討論(今村)

賛成討論(なし)

採決結果(可3―否1)

議第66号 平成25年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定についての審議では、歳入の保険料の特別徴収・普通徴収の内訳についての質疑がされました。

反対討論があり、採決の結果、賛成多数で、承認と決しました。

採決結果(可3―否1)

(請願第1号審議)

請願第1号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願の審議では、質疑、討論なく、採決の結果、全員賛成で、採択と決しました。

採決結果(可4―否0)

(請願第3号審議)

請願第3号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書の審議では、質疑、討論なく、採決の結果、全員賛成で、採択と決しました。

採決結果(可4―否0)

滋賀県議長会議員研修

10月8日
ハーティイセンター 秦荘

第1分科会報告

第一分科会は、「景観・衛生面のみならず防災・防犯にもかわる空き家対策について」をテーマに、26名の参加で行われました。各町とも近年、空き家が増加しているものも有効な手だてがないこと、また、空き家対策に積極的な行政と消極的な行政があり、取り組みに温度差があることなどが明らかにになりました。今後、空き家が生まれた背景を明らかにするとともに、解決に向けた政策の立案が必要な事を感じました。



第2分科会報告

この分科会は、若者定住促進のため子育て支援施策や住宅政策について討論がされました。日野町は、学童保育の充実と雇用・住宅整備が必要、竜王町は農振地のため住宅建設が困難で若者が出て行く、愛荘町は、人口増加の町で道路住宅整備が必要、甲良町は、字の行事が多く若者が出て行く、多賀町は、町の教育支援はあるが山間集落の若者は激減している、豊郷町は、医療費無料化の拡大や新築住宅の固定資産税軽減を実施しているなどと交流ができた。



課題も見えてきました。

第3分科会報告

人口減少社会を受け入れたうえで積極的な対策について6町21人の議員による意見交換を行いました。

- ・ 町外への人口流出を防ぐことの対策として、
- ・ 住みたいと思う魅力ある町づくり
- ・ 人間性が大切、コミュニティが重要。空き家活用と新築用地対策。
- ・ 結婚・出生率を高める子育て支援策。
- ・ 地域行事を若者に合わせ減ずる。

といった意見が出されました。

今後、斬新な施策



での地域活性化を進めていかなければならないと感じました。



9月定例会一般質問

●西村 雄三 議員

平成25年度決算の問題提起の課題対策は 13p

●佐々木 康雄 議員

公営住宅の駐車場の未整備とゴミ収集は 14p

●北川 かずとし 議員

時間外勤務の実態は 15p

高齢者の認知症防止の現状と対策は

●今村 恵美子 議員

子育て世代の支援充実を 16p

●鈴木 べんいち 議員

今年も灯油等暖房費の助成を 17p

実際の役場庁舎増改築事業費は

平成25年度決算の問題提起の課題対策は

職員は原点に戻って日々精進しよう

質問

昨年度の決算
監査で問題提

起されました項目、①滞納と不能欠損について、②委託料について、③負補交についてどう改善し又前向きに取り組まれたか。特に①の項目について当町の一番ネックになる部分で税の公平性が著しく欠ける問題ですので特に改善策はどうされ少しくずつでも前向きな対策が取られているのか。②の項目事業内容が解る書類が添付され具体的明記されているか否か。③の項目文書管理基準に基づき適正に分類されているか否か、その他として財務規則の厳格化、人材育成等々多々ありますが昨年より今年又来年と少しずつ向上しより良き豊郷

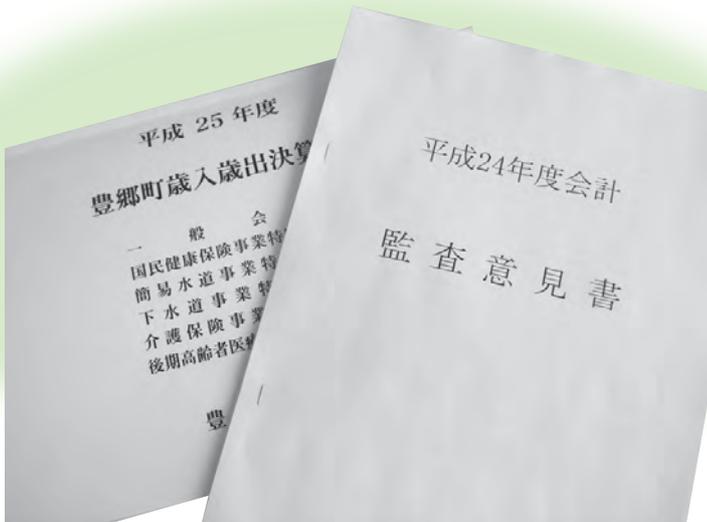
の向上するように。

税の公平性の観点から言って不具合がありすぎる。現在も前向きに取り組んで頂いていますがもっと前向きに取り組んで頂きたい。委託料、負補交も慣例でするのでなく世の中のニーズを的確に把握してメリハリの効いた施策を。

町長

①の項目で税の徴収率につきましては一般会計現年度過年度を含め対前年度比2.2%の増となっている。平成20年度より本町の税収体制を見直し滞納整理処分強化に取り組んだことによるものと考えている。又、不能欠損については地方税法による法的根拠に基づくものであり

適正に処理した。今後も滞納縮減に向け職員一丸となって滞納処分強化に取り組んで行く。②の項目ですが支出負担行為何書及び支出命令書の契約書の写し内訳書、仕様書を添付している。③の項目の書類等の編さんについては1部2年間に於ける書類の編さんについての指摘は是正しました。引き続き適正文書分類を行ってまいりたい。



監査意見書等

ズバリ!

町政を問う

公営住宅の駐車場の未整備とゴミ収集は

区長、設置要望、現在小型車で対応



佐々木 康雄 議員

質問

6月定例会後、団地内隣組と周辺隣組の合同会議が、区長、副区長が出席され、団地集会所で開かれました。

当日まで内容は明確でなかったが、この会議の目的は、団地隣組利用のゴミステーションの位置を現在の位置より団地入口に移動したいとのことでした。理由はゴミステーションの現在地は団地の奥にあり、収集車（パッカー車）が収集日に入れないとの事でした。このステーションは10年以上前より設置済みであり、現在まで問題は聞いていない。原因は、道路上に車を駐車されていることでした。

ゴミ収集や公営住宅の

入居から管理は町の責任と考える。答弁を。

住民生活課長

団地内道路に車が駐車され、通行に支障があり、今現在2トン収集車に対応している。

人権政策課長

昨年団地近隣の土地所有者に駐車場用地の協力をお願いしたが断られた。区より要望があり検討している。

再質問

設置当時より隣組独自の「カギ」を施錠しているが8月初旬に全く違う「カギ」が施錠され、「ゴミを入れることができず組長が「カギ」をこわして隣組内

の「ゴミ」を入れたと組長から聞きました。その後すぐに何の予告もなく、ステーション移転の文書がゴミステーションに貼られました。

6月の会議やその後も何の連絡も会議もなく、ステーション移転はおかしいのではないか。

住民生活課長

事実を承知しているが、今後、巡回強化をし、このようなことのないようにしたい。



ゴミステーション



北川 かずとし 議員

時間外勤務の実態は

意識改革の向上と事務の効率化を図る

質問

いつも思うのですが、夜に役場の横を通ると遅くまで照明が点灯しています。職員の方々が住民のために仕事に励んでおられ、ご苦労さまです。ただ、一部の部署だけが夜遅くまで残業をしているのは、根本的におかしいと思う。一時的に残業が続くのは致し方ないが、恒常的に続くのは根本的な問題が解消されていないからである。人的な不足が続き職員個人に負担がかかり過ぎていてはいないか。

副町長

地方分権一括法による権限移譲事務の増加による事務量の増加と個人相談なり面談の件数も増加傾向にあり、相談者のお仕事の関係上、平常勤務時間外での対応と相談記録等の作成により事務処理が増加している現実があります。今後、職員の意識改革の向上と事務の効率化を図り、より効率的な行政サービスができる体制の確立に努めていく。



夜の役場庁舎

高齢者の認知症防止の現状と対策は

広い視野での取り組みをすすめる

質問

豊郷町の高齢者の認知症予防に対し現在の状況把握はどうか。また、今後の対策についてどのように考えているのか、どうしていいのか。町長答弁を。

町長

今後、超高齢者社会の進展とともに認知症予防対策は重大な課題である。そうした中、認知症予防の取り組みとして、現在各字老人会などに働きかけ、認知症の予防も含めた高齢者の疾病予防や元気な体づくりのための出前講座を開催した。冬には、高学年の児童向けに実施します。



豊郷町
パンフレット

① 他に次の質問をしまし
た。
① 改良住宅譲渡の進捗状況はどうか
今後の対策として国では次年度から第6期介護保険事業計画の方向性として、包括的支援事業の重点項目の1つとして、認知症施策の推進が示されており、本町も平成27年度に認知症初期集中支援チームを設置し、初期からの適切な診断や対応を行い、認知症の正しい認識と理解に基づいて、本人や家族の支援をしていくと共に近隣市町等と連携をとりながら、認知症サポーターの養成なども力を注ぎ、広い視野での取り組みを進めていく。

ズバリ!

町政を問う



今村 恵美子 議員

ズバリ!

町政を問う

子育て世代の支援充実を

子育て会議で審議中です

質問

①待機児童解消へ、保育園の受け入れ体制の整備は考えていますか。

②両小学区に専用の学童保育所を整備し、「生活の場」「遊び活動の場」「静養・調理・トイレ」を設ければ、保護者も参加でき、また、地域の子育て支援の専門機関の役割も担えます。計画的に学童保育所建設を求めますが答弁を。

③民間賃貸住宅に居住する低所得子育て世帯に、家賃補助を実施し子育て支援の充実を。

④ひとり親家庭で子どもの貧困率が高い実態です。貧困対策として教育、生活分野での支援拡充を求めますが答弁を。

保健福祉課長

①②は、「子ども子育て会議」の審議答申が出てから対応を検討します。

③は、考えていません。

④は、高校卒業までの医療費無料化や、教育面でも「バチスタ」の取り組みなど他市町に誇れる事業をしています。ただ、心や体の健康増進という視点から貧困問題への取り組みは必要と考えています。

再質問

現在、両小学校のランチルームを間借りし学童保育が行われています。夏休み中は、一つの部屋で、休養をとり、また、弁当も食べ、遊んで勉強もするわけです。学童保育は家庭

の代替事業であり環境改善が必要で。以前、学童保育が実施されていた児童館は、遊戯室と休養室、読書室、調理室があり、子どもの環境としては最適でした。町は今後、学童保育施設の整備検討を考慮すべきです。

町長

家賃補助の件は、それぞれの町で子育て支援施策は違います。

それから、自治体によつては、低所得子育て世帯に家賃補助をする若者支援の取り組みもあり、是非、豊郷でも検討していきたいと思いますが、いかがか。



豊郷小学校 学童保育



日栄小学校 学童保育



鈴木 べんいち 議員

今年も灯油等 暖房費の助成を

今年度も実施したい

質問

昨年度、満65歳以上の高齢者を対象に、灯油等暖房費助成事業が実施され、多くの町民に喜ばれましたが、単年度で終わるのでなく継続して実施してこそ、目的が活かされるものだと考えます。そこで、今年もこの事業の実施と対象者の拡大を求め

として恒久的な事業として実施していくべきではないか。

町長

恒久的な施策という感じですね。

町長

今年度も、昨年度に続いて実施していきたい。

質問

この事業は、高齢者対策の一環



止まらぬ原油高

実際の役場庁舎増改築事業費は

7億9482万6000円

質問

6月議会で、役場庁舎増改築予算は議会に提出した額より「当然高くなっている。」との事だったが、いくらか。

町長

7億9482万6000円です。

質問

6月議会で、町民への説明をどうするのか質したところ、町長は「これまでの経過について現在、校正中で説明が不足していた分しっかりと町民に伝えたい」と答えたが、資料はできたのか。町民への説明はどうするのか。

町長

校正も終わり、私の町政報告として8月の14日に発行した。

質問

「私人・伊藤定勉」の政治活動で済ませたというのは公私混同ではないか。

町長

私人云々は、やはり予算の関係があるので私の町政報告でさせていただいた。私人でさせてもらった。

質問

6月議会で、役場庁舎設計委託業務の入札が10月と遅くなった理由の説明を求めたところ、課長は「説明できる根拠がない。」としたが、再度説明を求めると

総務企画課長

仕様書等の作成までの協議・検討に時間がかかった。

質問

ではなぜ、6月議会でそのような答弁をしなかったのか。

総務企画課長

その時点で（6月議会）で私の記憶が間違っていたのかも分かりませんが、今回、質問が上がった時は、再度書類を確認した上で答弁した。

ズバリ！
町政を問う

新しい踊りにチャレンジ

舞踊教室「ひまわりの会」

舞踊教室「ひまわりの会」は、平成15年に隣保館開設と同時にスタートしました。毎週月曜日、夜7時半から9時まで練習しております。あちらこちらのデイサービスセンターへの慰問や分館から出演依頼があればお伺いしたり、またオータムフェスティバルには、日頃の練習の集大成として毎年参加しています。

今年度から新指導者をお迎えして新しい踊りにチャレンジしています。メンバーも皆高齢となり、膝が痛い、目が廻ると言いつつも踊っていると楽しいので休まず続けています。ストレッチ発散にもなり、また軽い運動で心地よい汗も流すことになり興味のある方は、隣保館の方に連絡していただければ大歓迎です。

代表 細江 和子



隣保館にて

大会への応募も楽しみ

書道クラブが始まって10年過ぎました。

現在会員は大人5名、子ども(小学生)7名の計12名で、毎月2回練習に励んでいます。

大人は毛筆、子どもは硬筆と毛筆両方でけいこしています。

大人は各自課題の本を持って毎月の競書に出品しています。

それから、日本書道教育学会主催、文化庁後援の全国公募千字文大会に出品致します。(年に1回です)

豊郷町書道クラブ

優秀、秀作、佳作等々、賞も楽しみです。

また、彦根、大津、その他の地方で開催される書道展等、都合がつけば、2人、3人と見学に行きます。

終わりにになりましたが、練習日は月の第1、第3の木曜、夜7時から8時30分までが基本です。

諸般の事情で練習日が変わることもあります。

代表 宮川 満子



安正寺(安食西)にて

編集後記

今年是世界中で異常気象が起こっています。日本では、春は夏と思えるような日が続き、夏には長雨が続き広島県では土砂災害が発生し多くの方がお亡くなりになり、現在も復旧はなかなか進んでおりません。また、9月27日には、御嶽山が7年ぶりに噴火し多くの方が亡くなられたり、行方不明の方もおられます。

一方、世界各国では記録的な干ばつや過去最悪級の洪水が発生し、エボラ出血熱やデング熱が発生といろいろなことがおこっています。

緊急時・災害時には、隣近所が「共助のころ」でお互い助け合い地域を守ることが大切だと思えます。今後も地域のために議会議員としての役割を果たすよう努めてまいります。

広報常任委員会

委員長	西 澤 博 一
副委員長	鈴 木 べんいち
委員	佐々木 康 雄
	北 川 かずとし
	西 澤 きよただ
	北 川 かずとし
	前 田 広 幸